山口県立こころの医療センター広報誌

春号
2015年

こころだより

特集

DPAT合同訓練に参加しました!!

＊第２期中期計画について
＊こころ NEWS
＊職員募集のお知らせ
＊診療のご案内

編集：広報委員会
発行：山口県立こころの医療センター
山口県宇部市東岐波４００４－２
TEL：0836-58-2370（代表）

特集！

DPAT合同訓練に参加しました!!

※通称 DPAT（ディパット）

Q DPAT とは？

A 精神科医療を専門とする災害派遣精神医療チーム（Disaster Psychiatric Assistance Team）です。平成 25 年に厚生労働省が名称や定義を定めました。

Q どんな人が DPAT に入るの？

A 精神科医、看護師、業務調整員など数名でチームを構成し、ニーズに合わせて、薬剤師、保健師、精神保健福祉士、臨床心理技術者等を含めます。

Q どんなことをするの？

A 災害が発生した場合、７２時間以内に活動を開始します。現地に入ると、被災状況を把握し地域のニーズに応える形で、精神科医療と精神保健活動を提供します。活動期間は１週間を標準とし、必要に応じて同一都道府県から継続して派遣します。

DPAT合同訓練に参加しました

２月９日全国でも初めての試みとなる消防団、DMAT（災害派遣医療チーム）、９つの自治体病院が組織した DPAT の合同訓練が奈良市で開催され、当院より角田（精神科医）、賀山・吉松（精神科認定看護師）が参加しました。

訓練の目的は、①災害時の初動対応・救護体制の理解、② DPAT 先遣隊研修で習得した知識・技術を実践することです。訓練は奈良市内のホテルを全館貸し切って、停電、断水、暖房、トイレも使用できない状況とし、総勢 400 人の参加がありました。訓練では、奈良盆地東縁断層帯を震源とする大地震を想定し、第一段階は消防団による被災者の避難誘導、第二段階は消防団と DMAT が傷病者のトリアージを実施し、DMAT の要請を受け DPAT が被災者への介入を行いました。訓練とはいえ薄暗い会場内は雑踏を極め、本番さながらの緊張感の中で情報収集や対応に戸惑いましたが、貴重な経験を得ることができました。

DPAT の活動は始まったばかりです。過去の学びを活かし、平時から訓練やシミュレーションを積み重ねることが、医療に携わる私達に課せられた役割だと強く感じました。

第２期中期計画について

当院が所属する地方独立行政法人山口県立病院機構では、平成２３年の独立行政法人化に合わせ、当該年度を初年度とする第１期中期計画を策定し、この計画に基づき病院運営を着実に推進することで、高まる医療ニーズに的確に対応するなど、県の基幹病院として求められる使命と役割を果たしてまいりました。

しかしながら、平成２６年度が第１期中期計画の最終年度であることに加え、少子・高齢化の急速な進展など、病院運営を取り巻く環境が大きく変化していることから、この度、平成２７年度を初年度とする新たな中期計画（第２期中期計画）を策定いたしました。

平成３０年度を最終年度とするこの新計画の中で、県の基幹精神科病院である「こころの医療センター」が目指す方向を、

① 精神科救急・急性期医療への対応
② 難治性患者・重症患者への専門医療及び地域生活支援への対応
③ 児童・思春期精神科医療の充実
④ 認知症、高次脳機能障害への医療連携の構築
⑤ 司法精神医療体制の向上

の５つの柱として明示させていただきました。

今後は、この５つの柱に沿って、兼行院長以下病院スタッフ一丸となり、県民の心の健康を支える質の高い医療を継続、安定的に提供していきたいと考えておりますので、皆様方には、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事務部長　梶川（かじかわ）　修次（しゅうじ）

こころNEWS

認知症疾患医療センター研修会

平成２７年2月１５日（日）山口市の県総合保健会館で約４２０名の参加を得て、認知症疾患医療センター研修会を行いました。

今年度は、県内に認知症疾患医療センターが当院とあわせて５カ所指定されました。

基調講演は都立松沢病院の斉藤院長が、「認知症の理解とケア」と題し、「患者さんは障害を体験する、私たちは障害を観察する」との内容でご自身の母親の介護体験を交えて話されました。参加者からは分かりやすい言葉で今まで聞いたことのない視点のお話に目からウロコとの感想が多くありました。

平成 26 年度高次脳機能障害地域支援ネットワーク　中国ブロック研修会

平成 27 年３月７日（土）に山口県総合保健会館にて中国ブロック研修会を開催しました。

県外からの参加が約 30 名、県内は約 200 名の参加がありました。今回は、「子どもの脳機能障害の支援について考える」というシンポジウムのテーマであり、参加者は医療関係者、福祉関係者以外に教育関係者の参加もありました。講演についてはグループ訓練や子どもの脳機能障害についてとても分かりやすい内容であったと好評でした。

職員を募集しています

山口県立病院機構　職員採用試験受験案内（助産師・看護師）（平成２８年４月１日採用）

◎募集人数　助産師　　３人程度（山口県立総合医療センター）
　　看護師　４５人程度（山口県立総合医療センター）
　　〃　　２人程度（山口県立こころの医療センター）

◎応募期間【Ａ日程】平成２７年2月１３日（金）～7月３１日（金）
　　【Ｂ日程】平成２７年2月１３日（金）～9月１０日（木）

◎ 試 験 日【Ａ日程】平成２７年８月１６日（日）
　　【Ｂ日程】平成２７年９月２７日（日）
（Ａ日程、Ｂ日程　両方とも受験することはできません。）

詳しくは、山口県立病院機構本部事務局のホームページ（http://www.ypho.jp/）をご覧になってください。
また、当院事務部窓口でも受験案内・受験申込書をお配りしております。

お問い合わせ先：地方独立行政法人山口県立病院機構本部事務局　TEL/0835-28-3311

診療のご案内

外来診察担当医						
	初診		再診			
月	（物忘れ、一般） 兼行　浩史	（一般） 角田　武久	磯村　信治	兼行　浩史	藤田　　実	宮野　康寛
火	（児童・思春期、一般） 村田　由紀		三好　俊彦	吉田奈緒美	青島　真由	
水	（児童・思春期） 加来　洋一	（高次脳） 兼行　浩史	村田　由紀	兼行　浩史	新造　竜也	青島　真由
木	（アルコール依存、一般） 藤田　　実	（一般） 新造　竜也	兼行　浩史	角田　武久	宮野　康寛	
金	（物忘れ、一般） 宮野　康寛	（児童・思春期） 青島　真由	藤田　　実	加来　洋一	吉田奈緒美	

初診・再診とも予約制となっております。予めお電話でご予約されてご来院ください。
外来直通電話：０８３６-５８-２３２７

交通のご案内

お車 / 山口宇部道路「宇部東 IC」より丸尾方面へ約５分
電車 /JR 宇部線「丸尾駅」より徒歩約 15 分
バス / 宇部市営バス「東岐波中学校前」より徒歩約 10 分

地方独立行政法人山口県立病院機構
山口県立こころの医療センター

〒 755-0241　山口県宇部市東岐波 4004-2
TEL：0836-58-2370（代表）
　：0836-58-2327（外来直通）
FAX：0836-58-6503

こころの医療センター　検索
http://www.y-kokoro.jp/